

国語

第1問

次の文章を読んで、後の問い（問1～問8）に答えよ。

（外山^{とやましげ}滋比古^{ひこ}）『塩と砂糖を見分けられない人の固すぎる思考』

東洋経済オンライン平成三十年十二月十六日配信記事による。（ただし一部改変してある。）

問1 傍線部ア～オの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問2 文中の空欄

A

 に入る最も適当な語を次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア まるで イ 全く ウ 少しも エ 必ずしも オ 必ず

問3 文中の空欄

B

 に入る最も適当な語を次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 知識 イ 実験 ウ 順序 エ 味覚 オ 失敗

問4 傍線部1「本来であれば、知識を詰め込んだら次の段階として、『思考力』を育てるプロセスが始まるはずだが、そうはならなかった。」とあるが、それはなぜか、説明せよ。

問5 傍線部2「知識がない人ほど自分で考えるしなくなる。」とあるが、その根拠としてどういう実例をあげているか、答えよ。

問6 傍線部3「行動力は下がっているのではないか。」とあるが、それはなぜか、「想像」と「創造」の二語を使って説明せよ。

問7 傍線部4「素晴らしい設問が生まれた。」とあるが、なぜ素晴らしいのか、説明せよ。

問8 傍線部5「あるべき順序」とあるが、筆者がそのように主張するのはなぜか、説明せよ。

第2問

次の文章を読んで、後の問い（問1～問8）に答えよ。

（かたやまひろこ片山廣子『古い伝説』による。ただし一部改変してある。）

問 1 傍線部アゝオの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問 2 文中の空欄 に入る最も適当な語を次のアゝオの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 欲望 イ 憎悪 ウ 失望 エ 貧乏 オ 後悔

問 3 「」のつけられていない神の言葉を、傍線部2より以前の文中から抜き出し、最初と最後の五字で答えよ。

問 4 傍線部1「蒼暗い波の上に白い船が一つ見えていた」とあるが、誰のどういう姿をイメージしたものであるか、答えよ。

問 5 傍線部2「あきらかにこの創作が失敗の作である」とあるが、それはどういう点で失敗であるというのか、説明せよ。

問 6 傍線部3「神もその溜息は聞きのがされたらしい。」とあるが、それはなぜか、説明せよ。

問 7 傍線部4「静かな洋装で、すらりとした脚はゝ少し寂しい歩きぶりだった。」とあるが、同様の歩きぶりについて表現している箇所を文中から三十五字で抜き出せ。ただし句読点も一字と数えること。

問 8 傍線部5「そんなことが頭に動いた拍子に、私は今日の貧乏生活がありがたく新しいものに思われ出した。」とある

が、筆者は多くの現代人のありようをどのように批評しているか、説明せよ。